

マーケットの動き（2025年3月24日～3月28日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。
週初は、トランプ米政権による関税政策について、対象となる国や品目が限定されるとの報道から関税政策に対する過度な警戒感が薄れたことで円売り・米ドル買いが優勢となりました。週末に発表された2月の米国PCE（個人消費支出）物価指数などの結果を受け、景気後退局面でありながらもインフレが進行するとの懸念や輸入自動車に対する追加関税が発表されたことから米国長期金利が低下すると、円買い・米ドル売りが優勢となりました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2025年3月）

円に対して米ドルはレンジ内で上値は重く、ユーロは弱含む

米ドル：FRB（米国連邦準備制度理事会）は利下げを休止しているものの、基本姿勢は利下げ方向とみられることに加え、日銀は緩やかに追加利上げを行うとみられる中、ドルの円に対する上値は重くなるとみています。

ユーロ：ユーロ圏景気の低迷やECB（欧州中央銀行）による追加利下げ観測に加え、日本の長期金利上昇もあり、ユーロは円に対して弱含むとみています。

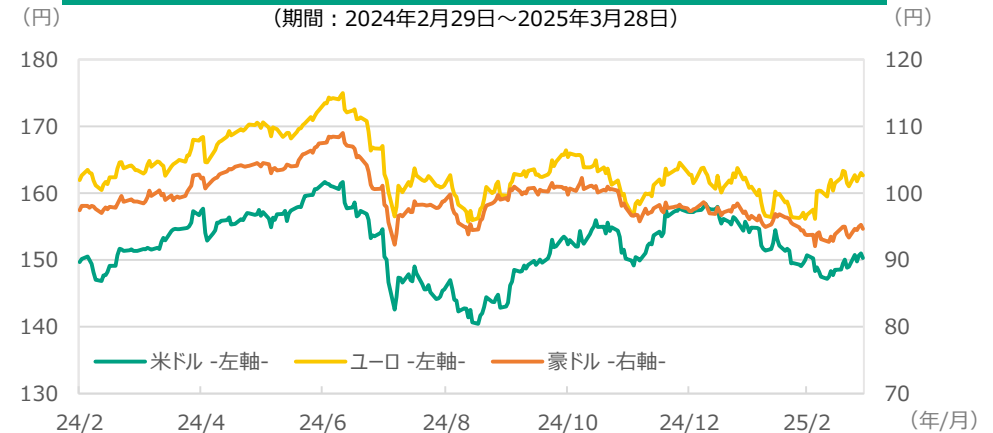
	3月28日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	150.28	1.29	▲0.42	7.41	▲1.07
ユーロ/円	162.64	1.60	5.92	2.93	▲0.81

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

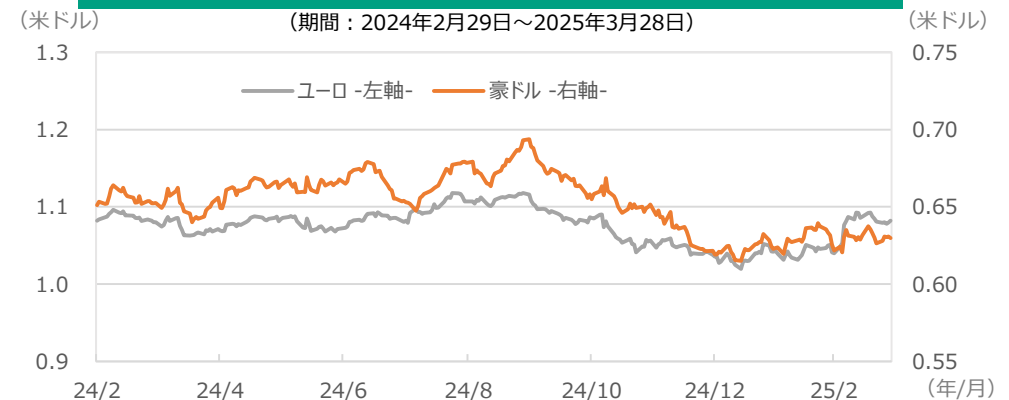
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202503_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>